

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	特色ある学校教育推進事業(No. 21)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	特色ある学校教育プラン推進事業	92.5	A
02	地域教育力推進事業	84.6	B
03	英語教育推進事業	98.9	A
04	教育振興経費	99.0	A
05	二宮小学校教育振興経費	90.1	A
06	一色小学校教育振興経費	100.0	A
07	山西小学校教育振興経費	91.8	A
08	二宮中学校教育振興経費	97.1	A
09	二宮西中学校教育振興経費	99.6	A
10	学校図書館推進事業	100.0	A
11	学校間ネットワーク推進事業	100.0	A
12	小学校教育用コンピューター整備事業	100.0	B
13	中学校教育用コンピューター整備事業	99.9	B
14	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	93.2	A
15	特別支援学級児童生徒支援事業	95.7	A
16	小学校共通児童健康管理経費	96.5	A
17	中学校共通児童健康管理経費	91.7	A
18	教育研究所経費	97.7	A

課題 (箇条書き)	来年度は全学校がコミュニティ・スクールとなることに伴い、各事業の見直しを行う必要がある。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	予算が限られている中、各事業内容に応じて、より一層効率よく予算を配分していく必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	小中一貫教育や学校再配置などの検討を踏まえ、学校のあり方を見据えながら、常に細かな見直しを行い、事業を運営していく。		

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	コミュニティ・スクール導入促進事業(No. 22)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	コミュニティ・スクール導入促進事業	67.4	B
02	小中一貫教育研究事業	86.6	B
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	30年度から一色小学校以外のコミュニティ・スクール化に向けた準備を始めていくので、一般町民の方へより一層の啓発を行う必要がある。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	一色小学校以外の4校の学校運営協議会の設立に向けた体制づくりを進め、コミュニティ・スクールに対する地域の方々の理解を深めるための方策を行う。一色小学校のコミュニティ・スクール化に向けた準備を着実に実施したが、一般町民の方への啓発に課題が残った。

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	先行実施をしている一色小学校に続き、他校においても具体的にコミュニティ・スクールを進めていくために、準備していく必要がある。また、小中一貫教育の導入に向け外部有識者を加えて研究を進めていく。						

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	支援教育推進事業 (No. 23)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	支援教育推進事業	97.3	A
02			
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	支援の必要な児童生徒の増加に伴い、各校へ効率的な支援教育補助員の配置を行う必要がある。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	支援の必要な児童生徒はもちろん、周りの児童生徒たちにも落ち着いた環境を作り出す うえで、当事業は重要な役割を担っている。 28年度からは小学校だけではなく、中学校にも支援教育補助員を配置したことにより、 しっかりと学習活動や学校生活の支援を行うことができた。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	支援教育補助員のニーズは年々高まっている。限られた予算内で効率的な配置を検討していく必要がある。						

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	教育相談・教育支援室事業 (No. 24)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	教育相談・教育支援室事業	95.3	A
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	心理教育相談員、スクールソーシャルワーカー等の専門職の持ち味を生かし、教育相談体制の強化を図る必要性がある。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	学校、心理教育相談員、スクール・ソーシャル・ワーカー、教育支援室、子ども育成課など、関係機関が連携した教育相談体制を確立した。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	不登校の児童生徒について、学校と教育支援室の連絡体制を確実なものにし、学校への復帰に向けた取組を進めていく。						

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	教育施設整備事業(No. 25)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	二宮小学校教育施設整備事業	86.3	B
02	一色小学校教育施設整備事業	99.8	B
03	山西小学校教育施設整備事業	97.9	B
04	二宮中学校教育施設整備事業	99.9	B
05	二宮西中学校教育施設整備事業	99.1	B
06	二宮小学校施設管理運営経費	99.8	A
07	一色小学校施設管理運営経費	98.5	A
08	山西小学校施設管理運営経費	96.3	A
09	二宮中学校施設管理運営経費	97.7	A
10	二宮西中学校施設管理運営経費	98.5	A
11	学校給食施設管理運営経費	96.4	A
課題 (箇条書き)	適正な施設設備の整備及び維持管理や運営には、計画的かつ適正な予算措置が必要である。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	説明	さらに、契約の一括化などに取り組み、限られた予算を効果的に執行する。	

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	施設設備については、継続的かつ計画的な事業実施が必要であることから引き続き取り組んでいく。						

事務事業評価シート(平成29年度実績)

担当部課等名	教育総務課
まちづくりの方向性	1 生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-2 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
分野別方針	2 子育て・子育ち
実施計画事業	学校・地域連携事業(No. 26)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	児童・生徒安全対策事業	77.6	B
02	教育委員経費	99.6	A
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	児童生徒安全対策事業に関して、コミュニティ・スクール化に合わせ、見守り体制の再構築をおこなっていただけるように検討を図る。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	児童生徒安全対策事業について、通学路交通安全プログラムに定められた関係機関との合同点検をおこなったが、予定通りのスケジュールで行うことができなかった。着実に実施できるよう、スケジュールの見直し等の検討が必要。

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	コミュニティ・スクール、小中一貫教育等、今後の学校のあり方検討と歩調を合わせて各種安全対策の取組の見直しを行っていく。						